

別紙A

四日市版コミュニティスクール報告書（2021年度総括）

四日市市立楠中学校
校長 中村 賢司

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

四日市版コミュニティスクールの運営要項に基づき、保護者・地域住民の方が主体的に学校運営に参画し、本校の学校づくりビジョンの目標である「あたたかさ たくましさ たしかさ」の実現を図ります。①「生徒の実態を把握し協議を重ねる」②「地域と学校教育活動の融合」③「生徒と地域との双方向性での関わりを深める」の3つの視点で推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

■「ウミガメのふるさと」吉崎海岸清掃ボランティアの講演会と清掃活動

1年生全員で、ウミガメ産卵地である地元、吉崎海岸のボランティア清掃を中心とした講演会と資料を使った学習会を行いました。例年では、実際に吉崎海岸に出向いて清掃活動を行うのですが、今年はコロナ対応及び天候不順で中止しました。講演内容は、地元の方々によるウミガメの生態や自然環境を破壊する現実とその対策についてです。資料も見せてもらい学習しました。

地域では、毎月第1日曜日に吉崎海岸の清掃活動を実施しています。ボランティアとして参加する生徒が徐々に増加してきました。地元の方たちからも喜ばれています。是非、来年度は学年での取組を行えればと思います。

■部活動を通じた地域との交流会（12月）

「1日先生」と題して、地域の楠スポーツクラブ主催のスポーツ・文化活動体験教室が午前中開催されました。中学校では野球、卓球、小学校では陸上、サッカー教室が行われ、それぞれに中学生も部活動の一環としてお手伝いをさせて頂きました。

■人権学習で学んだことを地域の方々に伝え意見をもらおう

地域の方々（楠地区人権教育推進協議会役員やコミュニティスクール委員）や保護者の方に参観いただき、人権学習発表会を行いました。2年生での人権学習を通して、自分自身の気づ



きや発信したいことを発表しました。子どもたちの頑張りや学びへの素直な姿勢等褒めていただきました。

■「夢」や「志」について考えよう（1-2年生キャリア学習会）

1年生では『自分の夢を見つけよう！』と題してお二人の市内在住の講師方に講演していただきました。また、2年生では、地元楠地区で運送業を営む方にお仕事や地域のお話をしていただきました。いずれの講演も「自分の夢を実現させるのには？」「いま、自分がすべきことは？」などさまざまな角度からスライドと映像をまじえ、わかりやすくおしえていただきました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度も地域行事は例年より随分少なくなっていました。そのような中でもボランティアの募集があれば、生徒たちが積極的に参加し、活躍している姿があり、グローバルな人材の育成にもつなげることができているように思います。コミュニティスクール運営協議会の指導・支援によって、地域が有する歴史・文化・自然・人材等のネットワークが広がるとともに、学校が活用可能な教育資源を見つけるためのきっかけづくりにもなっています。

今年度新たに地域の人権教育推進協議会の方々との交流もあり、子どもたちが自分たちで学んだことを発信し意見をもらう取組を行いました。意見をもらい自分たちの学んだことの良かった点や課題を知ることができて学んだ充実感を持つことができたように思います。生徒と保護者・地域の方との多様なふれあいを確保するための場や機会を充実させることは重要です。

運営協議会のみなさんにいただく意見によって新たな取組を行ったり、支援いただいで継続したりしている活動もあります。今後もその機会を大事にしていかななくてははいけないと考えます。

3 今後に向けて

地域の方々は、地域の担い手として子どもたちの活躍に期待しています。増加傾向にあるとは言えコロナ禍によって機会が少ないボランティア活動に気持ちよく参加し頑張る中学生の姿には、地域の力強さを感じます。今後も、より一層、生徒会等を中心にボランティア活動を推進し地域の発展に貢献していきます。将来「楠中学校出身でよかった。」と誇れる人材の育成に向けて地域・家庭・学校が一体となり、子どもたちの健全育成に向けて、双方向や多角的な視点を大切にしたい協議ができる学校運営協議会を目指します。